



砂浜で発掘！海のかけら

かけらから生き物を想像する

拾った生き物のかけらをよく観察し、その生き物の正体や暮らしについて想像するプログラムです。他の漂着物のプログラムと合わせても構いません。

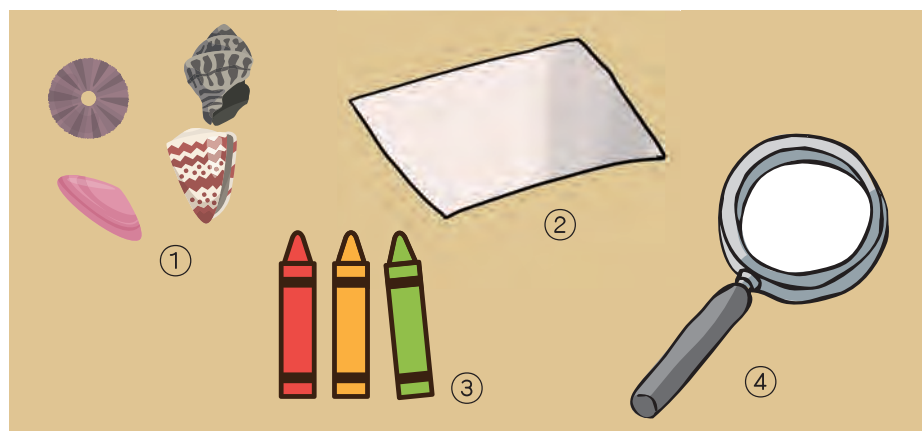
対象 小学生
場所 砂浜（屋内でも）
時間 30分

プログラムの前に...

1. 用意するもの

参加者（人数分）

- ①生物のかけら
砂浜の漂着物
- ②画用紙
- ③筆記用具（色鉛筆・クレヨン）
- ④ルーペ



2. 事前の準備

漂着物を拾う

- ・素材となる生物のかけらは砂浜で拾いましょう。
- ・ある程度の大きさがあった方がイメージしやすいので2cm以上のものを選びましょう。

他のプログラム後には

- ・他の漂着物を拾うプログラムの後に実施する際は着替えやシャワーなどの身支度を整えてから実施しましょう。集中して取り組むことができます。



プログラムの本番！

1. 海のかけらの正体は？（約20分）

①かけらを観察しよう

海のかけらを参加者に配布し、観察してもらいましょう。
手に取りながら、上下、裏表、頭や尾など生物の方向を
考えながらじっくり観察しましょう。

この時かけらの形だけでなく、ルーペなどで表面の模様
や構造もよく観察するとヒントになるかもしれません。



②正体は何か？

かけらの正体がイメージできたら、画用紙にその生物を描きま
しょう。以下のポイントに注意しながら描いてください。

- ・生物の大きさ
- ・かけらの箇所（骨・皮など）
- ・生物がどこにいるか（海・砂浜・遠くの国など）

最後に自由に生物の名前を付けて完成です。

2. かけらの正体を発表しよう！（約10分）

参加者は想像した生物を描いた画用紙を見せながら発表し
ましょう。例え間違った想像だったとしても、その元とな
った発見や考え方を拾い、ほめてあげましょう。

すべての発表が終わったら、多くの生物を育む海について
興味を抱くようなまとめをします。



ココがポイント

見られる海のかけら

砂浜で見られるかけらには以下のような物があります。実施中、正体を明かす
必要はありませんが、聞かれた時のために答えられるようにしましょう。



タヌキの頭骨



カニの甲羅



陶器のかけら



ガラスのかけら